

街の美容サロン、未病領域に挑戦 ITをフル活用、SNSで情報発信

神奈川県逗子市、スパサロン 「NOLASAPS (ノラサパス) 逗子」

今月、神奈川県逗子駅前の新ビルに「NOLASAPS (ノラサパス) 逗子」がオープンした。スパメニュー、加圧トレーニングも提供する美と健康のヘアサロンだ。「雑誌を一切置かない」、「店長職を競わせる」等、業態、運営、スタッフ管理まで、これまでの美容サロンの常識を覆すビジネスモデルが登場した。

未病分野を「美容室」でカバーしたい

「ノラサパス (NOLASAPS) 逗子」は、今年3月3日、JR 逗子駅 (神奈川県) 近くの新開業ビルにオープンした。レセプションのある2階はヘアサロンフロア。シャンプー台3つ、カット面5つを備える。階下 (1階) は、スパ・加圧トレーニングフロアだ。カーテンで仕切ったベッドルーム3つと、大型ミラーのある2畳ほどの加圧専用スペース、そしてシャワー、パウダールームがある。2フロアで31坪の店内は、色使いから調度品まで、アットホームな雰囲気がある。現在、美容師は3名、ボディスパニストと呼ばれるセラピスト1名、加圧トレーナーが1名。ネイル、ヘッドスパ、フェイシャルトリートメントは兼務。ノラサパス代表の小笠原知恵氏は、「出来るだけ兼務していくのがトータルビューティサービスを上手く提供する秘訣」と語る。

美容サロンと加圧トレーニングのマッチング

小笠原氏は、少子高齢化による顧客数の減少や、パーマやカラーの売り上げが減少していく美容業界の現状から、「お客様のそばに居る街の美容室こそが、お客様の健康や未病の分野を受け持っているのではないかと。そして食生活やライフスタイルまで関わって、お客様を支えるパートナーになれる」と考えた。まず、経路を元に、スパやヘッドスパ施術を開発、無添加のオリジナル化粧品も作った。そして昨年、以前からその効果に関心があった加圧トレーニング導入を決めた。すでに高浜 (愛知)、用賀 (東京) などのグループ店舗で実践し好評を得ている。「健康的に痩せるには、やはり

雑誌を置かないスッキリした
ヘアサロンフロア (2F)
(右)
貸し出しiPadと
加圧、スパの専用フロア (1F)
(下)



筋肉をつけるしかない。スポーツをやっていない人に筋肉をつけてもらうためには、加圧トレーニングが最適だと考えた」(小笠原氏)。

会員制で、3つのコースを用意

ヘアサロンメニューの他は、下のフロアが受け持つ。基本的には会員制で、ボディとヘッドスパの「未病改善」(25,200円)、加圧トレーニングが加わった「健康増進・回復」(52,500円)と「絶対的痩身」(58,800円)の3コース (全て1ヶ月4回) を用意した。

近隣の35歳以上の主婦層をメインターゲットに据え、まずは月間250名の来店数を目標としている。想定平均客単価は1万円。ヘア関連 (2階) とそれ以外 (1階) で、1:1の売り上げ比率を目指している。加圧があることで男性客も期待できるという。

サロン運営の常識を打ち破る

店内には、雑誌が一切置かれていない。その理由を「雑誌があると、スタッフがお客さんと会話をしなくなる。スタッフには、サロンブランドを正しく伝え、お客様情報やニーズを聞き出す重要な仕事がある」(小笠原氏) と説明する。

スタッフには、iPadを1台ずつ与えた。これは、場合によっては雑誌代わりに客にiPadを貸せるということもあるが、本当の目的は、スタッフにリアルタイムにSNSで情報発信してもらうため

だ。常に外へつぶやき、客のヘアスタイルや生の声をオンタイムでアップしていく。ホームページに出来るだけ多くの人を集めることが目的だ。グループ5店の共通ホームページ上で、カットコンテストイベントや、技術勉強会も行う。スタッフの会話、ホームページ、チラシの内容を全て連動させることを目指している。経営手法も新しい。経理もガラス張りにしてスタッフに運営上のタスクも分担した。しかも、現在、店長は不在。

集客数を競ってもらい、その成果で店長が決まるのだという。

一方、業界の課題である労働時間の改善にもいち早く取り組んでいる。ウィッグを使う営業時間外のカット練習を禁じるという大胆さだ。

「ここで実践する幾つものトライの中から、お客様のためになり、美容師のためになる業界の次のビジネスモデルを作りたい」。そう語る小笠原氏の、美容界へのチャレンジは続く。

3月号の紙面

2 ニュース

今後求めるメニューは「毛穴レス」小顔
美容関連のコピー商品が増加傾向に

3 ニュース

ティップネス、提案型フィットネスを強化
美容施設探し、女性の7割はネットで検索

5

美と健康の仕掛け人に聞く
「ビューティサービス」で
集客やファン作りにつなげる

マツモトキヨシホールディングス
新事業推進
水澤みゆき氏



6 特集 ダイエット

「ストレスレス」が次世代のダイエット
継続サポートサービスも充実

9・10

特集 ダイエット

ズームアップ 酵素
関連商品も人気、拡大する「酵素」市場
ズームアップ 温める
体温アップがダイエットの近道

12

話題の人

ヴィセラジャパン(株) 代表取締役社長
武藤興子氏

「感動レベルの満足感」を目指す



ズームアップ

温める

体温アップがダイエットの近道

美容、健康の大敵である冷えを解消し、体を“温める”ことの重要性が広く認知されてきた。体温が低いとダイエット効果も出にくい、体内外からのアプローチで体温を上げる商材のさらなる拡大が期待されている。

冷えはダイエットにも悪影響

体温の低下やそれにとまなう代謝の低下は美容や健康、ダイエットに数々の悪影響を及ぼす。

体温が1℃低下すると免疫は約30%低下し、基礎代謝は約12～13%減少するとされている。基礎代謝が多ければ太りにくいことはダイエット経験者であればもはや常識。さらに、内臓周辺の体温が低いと内臓脂肪が溜まりやすく、メタボリックシンドロームの元凶ともなると考えられている。美容面でも肌荒れなどを引き起こすなど、冷えの弊害は数知れない。

一昨年より「体温を上げると健康になる」「体を温めると病気はかならず治る」といった書籍が数十万部のベストセラーになり、消費者の認知が拡大した。

3月の健康博覧会でも「冷えた女は、プスになるー内臓温度を1℃上げて、誰でもアンチエイジング」の著者である全国冷え症研究所、山口氏によるイベントは、受付直後に満席となるなど注目の講座となった。

体温を上げるためには運動と温熱によるアプローチが基本だが、身近にある素材として生姜もブームに。大正製薬の「密」、ピアスの「ヴェーダヴィ」でも生姜を配合した商品が最も売れ筋だという。

施設での温熱アプローチは

エステティックサロンの痩身メニューでは、施術前に体を温めてからハンドマッサージやEMS（電気筋肉刺激）に入る流れが一般的で、各種の温熱機器が長く使われてきた歴史がある。

最近の痩身効果がある機器の売れ行きを見ても1位がヒートマット、2位がサウナドーム、3位が手足部分温浴機（ビューティガレージ調べ）と温熱機器のニーズは根強い。施術用としては高周波（RF）を用いた体内深部を温熱する機器も定着している。

部分温浴の定番であるゲルマニウム温浴は、施術前のプレウォーミングなどに使われる。フィットネスクラブでは、運動後にさらに汗をかく目的で使われる例もある。

また、エステティックサロンでは、深部加温が行えるRF（高周波）機器が主流となっている。体内に高周波を透過し、発生する電気抵抗によって体内での温熱効果をもたらす。内臓脂肪に対応するタイプや、皮下脂肪に対応するタイプなど機器のバリエーションも豊富だ。

温浴施設では炭酸泉が本格的に普及してきた。約9年前から人工炭酸泉製造装置が販売されているが、リニューアルや新店舗のオープンで炭酸泉を導入する店舗が増加。比較的低い温度のお湯でも体が温まると評判で、導入後来客数が2～3割増加することも珍しくないという。

“温める”ことは体感も良く、潜在需要も多いとされる。本格的なダイエットシーズン到来を前に、温める関連の商材は今後も拡大が期待できそうだ。

再注目される“深部加温”のパイオニア

㈱インディバ・ジャパン（東京都目黒区、03-5768-8871）では、16年前から高周波温熱機器「インディバ CRet System」を販売している。同社山口会長の提唱した「深部加温」のパイオニアとして、体内深部を温めることの重要性を訴え、効果的なメニューの提案なども行っている。

同社の温熱機器は、2つの電極間に特定の波長の高周波を透過することで、体内深部にジュール熱（生体熱）を発生させる。生活習慣や食生活の乱れなどの影響で、若い女性を中心に低体温の症状を持つ人が増えていることから、深部を加温することで代謝を活性化し、肥満を原因から改善することも提案している。

導入サロンに対するアフターフォ



ER42

ローにも力を入れており、保障期間は美容業界で最長の8年間。さらに無料講習を随時開催しており、加温の基本メカニズムから、応用としてリピートにつながる施術方法なども習得できる。

5月のビューティワールド・ジャパンでは、5月17日の13時10分から「深部加温」をテーマにワークショップを行う。

衛生対策が充実、フィットネスでも好評

26年の歴史を持つゲルマニウム温浴器「ゲルマくん」を販売する㈱アルファ・サポート（東京都豊島区、03-5958-5221）では、温浴器の衛生対策に注力している。

ゲルマニウム温浴はエステティックサロンや手軽な温浴方法として浸透。フィットネスクラブでも定着してきている。

ゲルマニウム温浴機は、数年前のピーク時には、全国で1万台以上が稼動しているとされる。その後ブームが沈静化すると、撤退するメーカーが増え、メンテナンスや日々の衛生対策に困っている施設も多い。

同社の「ゲルマクリーン」シリーズは、ゲルマニウム温浴器専用の衛生管理用材で、消臭除菌液、脂肪凝集液、配管



ゲルマクリーンシリーズ

洗浄消毒液が揃う。

特に消臭除菌液は効果が高く、パイオフィルム（ぬめり）が減少し、配管の詰まりを抑えられるという。これによってメンテナンスの手間が軽減され、長期的な稼動が期待できる。同社では、他社製品を導入しているユーザーにも、衛生面でのサポートを行っていくという。

炭酸泉の引き合いが急増

高濃度人工炭酸泉のパイオニア、三菱レイヨン・クリンスイ㈱（東京都中央区、03-3669-4753）では、用途に応じた多様な人工炭酸泉製造装置を販売している。

大型温浴施設向けの「エクセルカーボ」は、介護・福祉施設をはじめ、銭湯、フィットネスクラブの差別化につながる設備として導入されている。循環式とかけ流し式の2種類があり、温浴施設の様々なニーズに応える。

「カーボセラ・スタンダード」は、エ



紅潮作用も炭酸泉の特徴

ステティックサロンやヘッドスパを行うヘアサロンなど比較的小規模な施設でも導入しやすい価格とサイズを実現した。

生姜シロップで脂肪燃焼

ピアス㈱（大阪市北区、0120-828228）では女性のセルフコンディショニングをサポートする「ヴェーダヴィ」シリーズとして「ヴェーダヴィ ジンジャーシロップ」を発売している。価格は2,940円（380g）

この製品では1本あたり200gの生姜を使用。大さじ一杯で脂肪燃焼効果があるとされている生姜の摂取量の目安である約10gが摂取できる。国内で製造し、香料・着色料・化学調味料は



ヴェーダヴィ ジンジャーシロップ

一切不使用のため安心して使用できる。

本物の「深部加温」 「インディバ CRet System」

8年間保証

継続的な
無料講習で
応用技術を得得高周波温熱美容機器
インディバ CRet System

高機能、技術力、そして「解説力」
の3要素を提供。



株式会社 インディバ・ジャパン

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷5-15-1 F

tel.03-5768-8871 fax.03-5768-8872 http://www.indiba.co.jp